

2016年10月3日
環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦
担当ワーキンググループ主査 日比 保史

ウガンダ国中央部・東部地域灌漑地区開発計画
(開発計画調査型技術協力)
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2016年9月12日(月)14:00～16:55
- ・場所：JICA本部(1階111会議室)
- ・ワーキンググループ委員：柴田委員、鋤柄委員、虎岩委員、長谷川委員、日比委員、米田委員
- ・議題：ウガンダ国ウガンダ中央部・東部地域灌漑地区開発計画に係るDFR案についての助言案作成
- ・配付資料：ウガンダ国ウガンダ中央部・東部地域灌漑地区開発計画に係るDFR案事前配布資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第74回委員会)

- ・日時：2016年10月3日(月)14:30～16:10
- ・場所：TKP 麹町駅前会議室(カンファレンスルーム8A)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

環境配慮

1. マスタープラン対象となった 10 地区についての初期環境調査結果を一つの表に整理する際の経緯を FR に明記すること。
2. ラムサール条約登録湿地の保全へ貢献するために、登録湿地を共同管理するディストリクトと本事業に関連するディストリクトとが情報交換・協力を継続していく必要性を FR に記載すること。

社会配慮

3. 事業がもたらす社会的・経済的変容が女性に及ぼす影響（性的ハラスメントを含む）を十分に考慮し、女性戸主家庭の収入の増減、設立予定の水利組合への参加状況、地元説明会への参加率以外にも定性・定量調査におけるモニタリング項目のあり方をジェンダーの観点から十分に検討すること。

以上